



『僕ときびだんご』

石井達也

## 『みんなに本を贈る活動を』

---

インベストラ이프の読者の皆さんお久しぶりです！

以前、インベストラ이프誌で、読書を通じてさまざまな人の経験や知識を学ぶことができることから、自分ができる範囲で何かできないだろうかと思い立ち、自分の周囲の人たちや出会った人に本を毎月一冊プレゼントしているという記事を書かせていただいた倉敷の石井達也です。

あの記事を書かせていただいてから、今でもずっとこの習慣は続けています。その後、実際に今まで本を読むことがなかった人たちが、自分で本を購入して読むようになったり、また自分が読んで素敵だなあと感じた本をさらにほかの人にプレゼントするような人が現れたり、本当に素敵な輪が広がりを見せています。

そんな活動をしていて嬉しかったことは、お互いに本を読むことで、自分が読んでいない本の内容の感想を語りあえる仲間が増えたことです。自分が読んでいない素敵な本の内容や感想などを聞くことで、また新たな感動をしたり、ハッと気付かされることが多くなりました。今までプレゼントをしていた僕にも、とても大きな贈り物となって返ってきているように思います。

この間にも『ほかにももしろくて素敵なアイデアはないかな？』と、ずっと真剣に考えながら本のプレゼントを続けていました。決して自分は何か特別な力を持っているわけではないのですが、いろんな人に素敵でおもしろいと思ってもらえる波紋を広げることにはできないだろうか・・・。

## 『「桃太郎」から「きびだんご」』

---

僕は岡山県倉敷市に住んでいるわけですが、そこから考えてみることにしました。そこで浮かんだのは『岡山県』といえば『桃太郎』という日本が誇る昔話でした。僕はそのなかに出てくる『きびだんご』という言葉に『これだっ！』とピーンときたのです！

僕はいろんな人と出会っていろんな話しをしたり、何かを経験することがとても好きです。だから、よく県外などにも出かけたりします。たとえば、新幹線でたまたま隣の席になった人や、見知らぬ土地で道を尋ねた人など、今後二度と会うことはないかもしれない人たちですが、そうして出会ったことは不思議な『縁』でつながっているような気がします。

たった一度きりの縁かもしれませんが、何かしらのご縁であるなら、出会った人たちと少しでも“ İyi時間”を共有することができないだろうかと考えるようになりました。そして思いついたのが『きびだんご』だったわけです。

先日、新幹線で隣になった幼い子とお母さんがいて、さっそく『きびだんご』をプレゼントしたところ、お子さんにもお母さんにもすごく喜んでもらえたのでした。また、東京で道を尋ね、教えてくれたおばあちゃんにも『ありがとうございます』と一粒きびだんごを手渡すと、驚きながらも笑顔で喜んでくれました。

いろいろと出会った人に

「これ『きびだんご』なんですけど、おひとついかがですか？」

と笑顔で言うと、だいたい

「『きびだんご』っていったら桃太郎じゃない？お兄ちゃんはもしかして岡山から来たの？」

というようなことを言われます。もちろん岡山出身の人間ですので

「そうなんです。岡山からきたんですよ」

と答えます。するとそこからお互いにいろんなことに話題がおよび、話しに花が咲きます。

さっきまで全然知らなかった人とも、自然に『きびだんご』をきっかけとして会話ができることに驚きました！『桃太郎』は日本人であれば本当にほとんどの人が知っている昔話です。それに年配の方から小さな子どもまで本当にみんなが知っています。だから本当に『きびだんご』がきっかけで誰とでも話ができるんです。

たった一度限りの縁なのかもしれませんが、 İyi時間を過ごせたり、笑顔で話が出来たり、お互い素敵な話しを共有できたりすることは本当に大切なものではないだろうかと思います。



## 『「いい縁」でも「悪い縁」でも「円」をよぶ』

---

僕は『縁』が『円』なのではないかと思います。『縁』が集まるところに『円』も集まっているんじゃないだろうかと思います。それが『いい縁』や『悪い縁』でも同じように『円』は集まっているように思います。

でも最終的に集まった『円』も、『いい縁』ではみんなと分かち合ったりして長い時間をかけてより素敵なものになっていくように思いますが『悪い縁』の場合は、やっぱり一時的には『円』が集まっても奪い合いや裏切りによって『縁』が切れて『円』も失ってしまうように思います。

僕は『きびだんご』という一粒一粒は小さなものではあるかもしれませんが、たとえ一度きりの『縁』だとしても素敵な『縁』にしたいなと思います。『いい縁』であり、長期投資という考えのなかでも『いい円』でありたいと心の底から願っています！これからも自分のできること、堂々と胸を張ってみんなと笑顔でいることができたらいいなと思っています。

『僕ときびだんご』という変わった話だと思いますが、また皆さんに少しでもお役に立つことができたと思いますし、またおもしろいエピソードがあったら皆さんにお話ができたらいいなと思っています。本当に最後まで読んでいただきありがとうございました。